

「夢の里」バザー開催

~あなたの善意を~

「夢の里」では年末にバザーを計画してます。つきましては、皆さんのご家庭でかまわない物品がありましたら、ぜひご提供ください。皆さんの善意により得た収入は、社会福祉施設へ寄附させていただきます。バザー当日は、お説き合わせのうえご来場ください。

■とき 12月9日(土) 午後1時~
■ところ 老人保健施設「夢の里」

※お問い合わせは夢の里(086-6166)担当長野へ

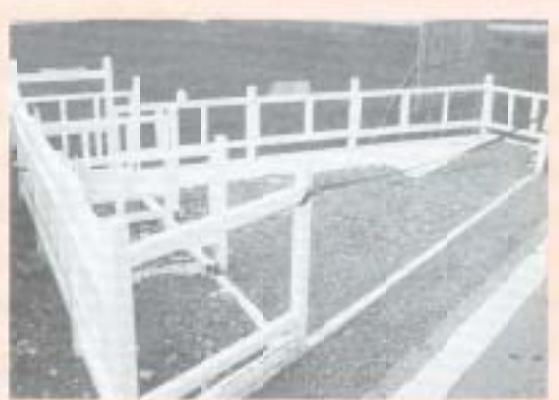
になるのではないでしようか。誰かが「ゴミ袋には頭がある」とかの思い出します。

市内の所々に、このステーションのよみに美しいステーションが増えていると思います。ゴミ袋と同じくステーションにも頭があり、きれいなステーションに出くわしたら、そのあたりに住む人の、心の美しさを見た感覚がして、気分がよくなるものです。「ゴミ」になる前は、「美しく、おいしそうなもの」だったはず。ありがたいいたいたいたのへの感謝の気持ちを持ちながら、それを処分してくれる「人」のいることを意識して、ステーションを「街の顔」として、みんな大切に美しくしようとではありませんか。



高知市で電子回路のゴミのリサイクルがスタートして一ヶ月間で収集車が市内を一巡した。広報委員会では、市民の目でみた現状についてリポートすることになり、生活環境課の早朝見回りに同行した。高岡田地では、初めての収集日ということもありてか、二百四十一世帯から出されたゴミは、量的には思ったほどではない。それでも、自治会役員人が、田地方四つの不燃物ステーションを回りながら、色別に分けて出されているかチェックされていた。同田地では、ビンのリサイクルに関する、自治会で再三学習会を重ね、住民への徹底した広報活動が行われていたためかスムーズなスタートのようだ。十二ある生ゴミステーションも、ついぶんきりに清掃されていた。

蓮原田地のもう二ゴミステーションが「ゴミ捨て場」ではなく「ゴミ置き場」という認識で、指定日



「ゴミステーションは心を映す?」

白ハーフキで十車に乗りあがりたたばらしい木工作品、なんともアーベンチックな館風の木柱、これ、ゴミのステーション……。九月からゴミの分別収集も始まった健康文化都市南国。少しでも最終処分場の処理能力を過度存しないといけない南国市の現状を充分理解してこれを実践する市民、象徴のような美しいステーション。丸分かりのゴミにして、こんなステーションに置かれ、そして、処分場へ運ばれるとしたら、きっと「いい、き・も・ち」

びん分別収集開始 その現状は?